

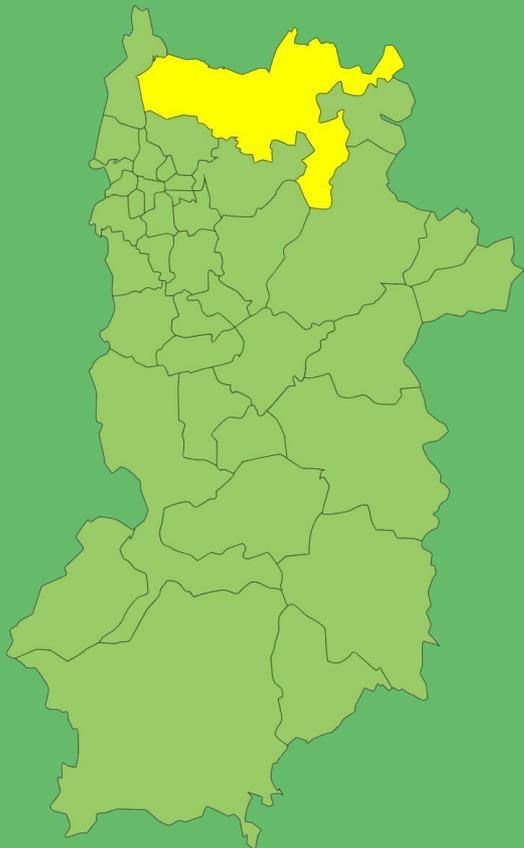
2021.7.8

ICT CONNECT 21研修サブ部会勉強会「年次更新について」

乗り換えた年次更新！スムーズに次年度を迎えるために
～計画的に準備をしましょう～

文部科学省 ICT活用教育アドバイザー委員
奈良県域GIGAスクール構想推進協議会調整部会 会長
奈良市教育委員会事務局教育部 学校教育課 情報教育係
係長 谷正友

奈良市の学校教育の現況



学校種	学校数	教職員数	児童生徒数
小学校	43	1,006名	15,325名
中学校	21	549名	7,242名
高校	1	70名	1,073名
合計	65	1,625名	22,567名

令和2年3月1日現在

運用数か月でのよくある**教委**悩みポイント

- **ICT**のことについて**経験値**が足りない
- **セキュリティポリシー**や**技術**について膨大な知識が必要
- 学校の**要望**や**質問**が多様（詳しい人とそうではない人）
- **できること**と**やっていいこと**の整理が難しい
- 試行錯誤の範囲が**限度**を超えてしまう

**ICTに関することを教委で推進することの難しさと
事業者まかせ、学校まかせにするリスク**

ある小学校での様子...

端末で検索

辞書で調べる

資料を画面提示

友達と相談

子どもたちが、端末を1つの学習ツールとして、それぞれのニーズに合わせて活用

ある中学校での様子...

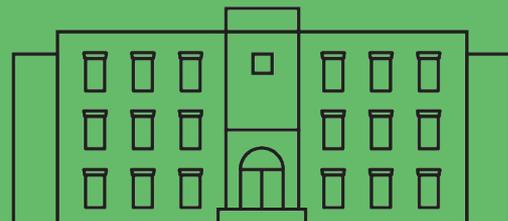
見本動画を
視聴



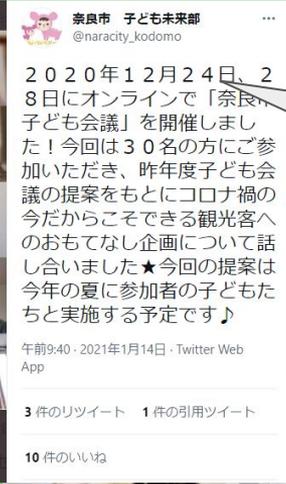
動画を見て
アドバイス



実技の様子を
撮影



学校以外でのGIGA端末の活躍



市長部局主催の「奈良市子ども会議」でのGIGA端末の活躍



日常的な家庭学習でのGIGA端末の活躍



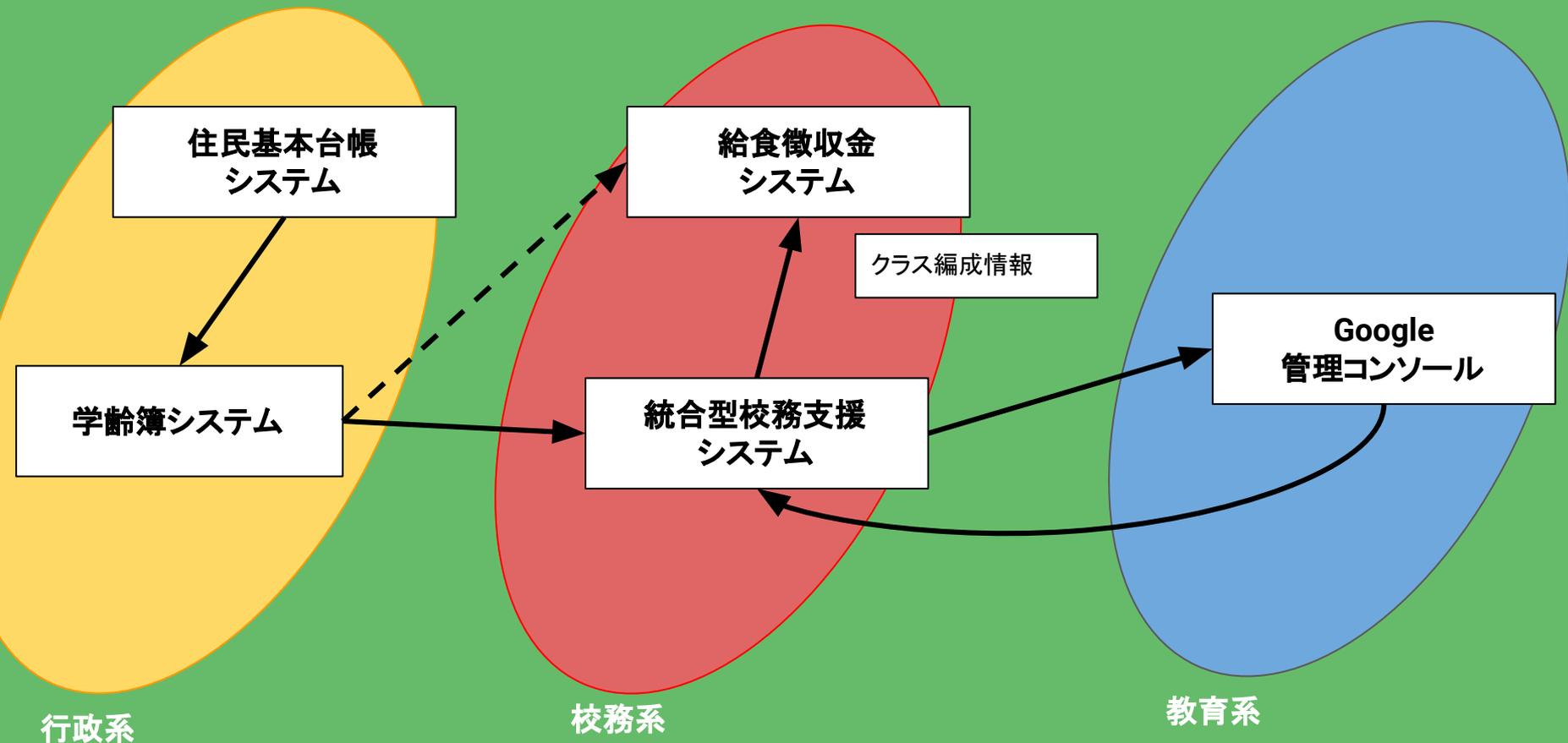
地域の教育活動イベントでのGIGA端末の活躍

年次更新の前に 運用ルール

- 統合型校務支援システムを運用している
- 卒業生の端末を次年度の入学生に割りあてる
小6→新小1、中3→新中1 ※小中一貫校のみ中3→新小1
- 1人1台同じ端末 Chromebook を利用している

学齢簿→校務支援システムの連携を拡充して
教育系アカウントの運用管理に活かす

アカウント管理の基本



年次更新の前に アカウトルール

- Google Workspace for Educationのアカウントは
小学校から高等学校まで継続利用
県内の国立、県立及び市町村立学校まで同ドメイン
- @マーク前は識別できない文字列で運用
- 属性情報において、クラス情報を保有



必須の拡張機能とアプリは「自動インストール」有効

県域共通ドメインの強みを活かしていく

考慮すべきはどんなこと？

1. 端末の台数の調整
2. 進級生アカウントの取り扱い
3. 新入生アカウントの取り扱い
4. 卒業生アカウントの取り扱い
5. 転出・転入の取り扱い

端末の台数の調整

- 次年度の児童生徒の**暫定人数の確認**
- **卒業予定者**にお願いして**端末のチェック**
- 教職員による**現物チェック**と**余剰見込み**を**市教委へ**
- 市教委にて点検の上、**不足見込みの学校へ**端末移動

予備機等が確保されており、不足しない場合
概ねスムーズに進められる

進級生アカウントの取り扱い

- 校務支援システムにてクラス編成情報確定
- アカウントの属性情報にクラス情報を一括適用
- 市教委より学校へ提供

進級時はクラス情報を適用するのみ
一括適用することが合理的。教委が支援。

卒業生アカウントの取り扱い

- 小学校の卒業生
 - 校務支援システムにより**進学先中学校情報**を連携
 - アカウントに新学校の所属を**一括反映**
- 中学校の卒業生
 - 県域規定の**進学者組織**へアカウントを**一括移動**
- 高校の卒業生、その他私学進学者や転出
 - 卒業式までに**データエクスポート手順**の案内
 - 卒業生組織への**一括移動**

**組織的な運用は教委一括で処理することで
関係者への影響を最小化し、確実に実現する**

新入生アカウントの取り扱い

- 入学者名簿の**暫定版**の入手
- 入学者アカウント**一括作成**の準備
- 校務支援システム**クラス編成**、**入学者名簿確定**
- アカウント**一括作成**
- 市教委より学校へ提供
- 児童生徒への**端末とアカウントの配付**

新小学校1年生の期待に応える
学校の取り組みを支援するために

まとめ



Chromebookにかかる作業は事実上なし

→ フルクラウドプラットフォームのメリット

- アカウントの運用管理の一括処理は教委で集約

→ 1日も早く確実に利用開始できるようにする

- 卒業生や転出者処理を学校任せにしない

→ セキュリティリスクにつながるリスクを最小化

**学校の負担をできる限り小さくし、
児童生徒と教職員に還元できる仕組みが必要不可欠**



奈良県・県内市町村の取組 奈良県**GIGA**スクール構想推進協議会



- **GIGA**スクール構想の共同調達
- **STEAM**教育エバンジェリスト研修
- 先生応援プログラム
- 県域統合型校務支援システム
- 県域包括ライセンス



担当だけで、学校任せ、ではなくチームで取り組む
都道府県、市町村、学校種、学校間、保護者、地域

ご紹介

奈良市学校教育課 公式 Twitterアカウント

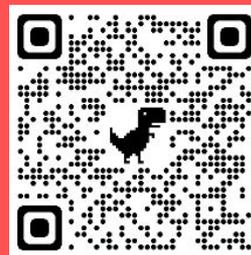
<https://twitter.com/gakkoukyouiku>

多くの事例や
取組を紹介
しています。



奈良市版GIGAスクール構想～いちばん古い奈良でいちばん新しい教育を！～

<https://www.city.nara.lg.jp/site/gigaschool/>



奈良県立教育研究所 奈良県域GIGAスクール構想の推進

<http://www.e-net.nara.jp/kenkyo/index.cfm/27,2191,109.html>

